



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2013年8月のロータリーレポートは1ドル=100円

パストガバナーからの手紙 145回 炭谷 亮一

良書探訪 その4 「バカに民主主義は無理なのか」 長山 靖生

書店で過激なタイトルの本書を目にし、パラパラとページをめくり、おもしろそうなので購入した。一読して濃い内容と、確固とした主張に圧倒された。私にとって民主主義は当たり前の様に考えていた制度だったが、私達日本人にとっては扱いにくい制度なのかも知れないとさえ思える様になった。

本書の80%は、日本の民主制が危機に陥った理由の分析、民主制の歴史と展開、日本国憲法の問題点、戦後政治の分析と問題提示の後にいよいよ圧巻である言うは易し行うは難しの民主主義論の展開となる。以下詳述する。

福沢諭吉は明治の初期において、日本人は「独立心」と「科学的思考」に欠けていると指摘し、これは現代日本にもそのまま当てはまる。日本人の「独立心」のなさについては福沢に限らずその後もたびたび言われてきたし、多少は自覚があるだろう。それでも独立した自己を確立することよりも、「みんなと一緒に」の「友愛」を重んじていけば大丈夫と言う価値観に支配されているのが日本人だ。

一方、「科学的思考」については、それが欠けていると言う自覚は現代の日本人にはあまりない様だ。それどころか現代日本人は「日本人は理数系に強い」と思っている。更には日本人は他民族よりも優れているとさえ思っている。たしかに日本人の計算能力は結構高い。だがそれだけで数理的な論理思考を身につけていることにはならない。ここで言う「科学的思考」とは、必要なデータを取り揃えて検討し、私的欲望から公的願望、更には理想主義にいたるあらゆる恣意を排除して、事実そのものを構成する理論を明らかにしようとする、「合理的思考」のことだ。

「科学的思考」は既成概念や神話を排除する思考

クラブ例会（木）等予定 2013-2014年度

- 8/29 丸田三智雄 (office MARUTA 所長)
- 9/5 二木秀樹 (職業奉仕)
- 9/12 多田邦彦 (多田屋 代表取締役社長)
- 9/19 会場変更例会 (如来寺) 稲山会員 のごぎり演奏
- 9/26 スンダリミカ (ネパール大衆歌謡歌手)
- 10/3 例会休会 → 金沢北 RC 創立 40 周年記念例会
- 10/10 中里茂 (いしかわ省エネ・節電アドバイザー)

2013～14 理事・役員 委員会

(役員) 会長：野城勲 エルト：宮永満祐美 副会長：若狭豊 副会長：魏賢任 幹事：上杉輝子 副幹事：井口千夏
会計：東海林也令子 SAA：武藤清秀 直前会長 北山吉明

(理事) クラブ管理運営委員長：西村邦雄 副：二木秀樹 親睦：○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満 井口千夏 宍戸紀文 プログラム：○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 SAA：○武藤清秀 大路孝之 川きみよ ニコニコ：○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則：○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智
直前委員長：○村田祐一

奉仕プロジェクト委員長：木場紀子 副：水野陽子 職業：○永原源八郎 竹田敬一郎 木村幸生 社会：○谷伊津子 稲山訓央 辰己クミ 大沼俊昭 国際：○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子

喫煙問題：村田祐一 会員組織委員長：金沂秀 副：辰己クミ 会員増強修練：○藤間勘菊 石丸幹夫 炭谷亮一 金沂秀 魏賢任 **ロータリー財団委員長：藤間勘菊** 副：永原源八郎 **ロータリー財団・米山寄付：**

○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付：野城勲 **広報委員会委員長：村田祐一** 副：江守道子 広報：○杵屋喜三以満 相良光貞 宍戸紀文 **ロータリー情報：○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 会報ホーム**

ページ：○石丸幹夫 宍戸紀文 稲山訓央 **常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 ★太字：理事役員**

理事会オブザーバー・アドバイザー： パストガバナー炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間 京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241 (事務局) 村木早苗

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日 (土日祝日) 幹事 上杉輝子

である。更には「事実そのもの」に基づいて思考する態度であり、自らの願望や世間の思惑を排除して、不都合な真実から目を背けない思考である。自然科学上の事実を無視して、自然法は成立しない。慣習法（正政、実権政）から自然法（民主制、人権重視）へと言う意識改革は、既得権者や知識人のそうした自覚なしには進まなかった。

また「法の下での平等」は、私的感情に左右されずに冷静に事実を見つめることによってしか保たれない。しかし日本では、どうもそのあたりが曖昧で、情味があるのがいい政治だと思われている節がある。そしてしばしば「情味」とは「お目こぼし」のことだと思われている節がある。しかし見て見ぬふりをして、現実は何も変わらない。ばれると大騒ぎして、ばれない間は「信じていて」と言うのは、国民も政治家もやめた方がよい。もっと腹が立つのは電力事業を生業としている企業が原発事故に際して「想定外」と主張し、監督官庁の「承知しておりませんでした」と言い訳する無責任な態度だ。著者は「反原発論者」ではないとはっきり明言した上で、現在の科学技術の水準から言えば、「安全な原発」をつくることは不可能ではない、原子力工学の火を消してはならない（学術研究と研究者育成の為）、また、福島の第1原発のみならず老朽原発の廃炉処理の為にも研究開発を更に活発化させる必要がある。東日本大震災の影響で、東電の福島第1原発がメルトダウンし、大量の放射性物質が飛散した。この事故では多くの日本人が思考停止状態に陥った。「科学的思考」のメルトダウン、つまり欠落であった。

著者は言っている。安全性よりも経済効率を重んじたら、「安全な原発」はできない。できるのは「経済的な原発」だけだ。我々国民が心配しなくてはならないのは、科学技術レベルではなく、コスト優先の企業体質だ。最後に「科学的思考」なしには「安全な原発」は言うに及ばず肝心要の「民主主義」さえ無理なのではと???

長山靖生（ながやまやすお）
1962年茨城県生まれ。評論家。歯学博士。鶴見大学歯学部卒業。歯科医のかたわら、文芸評論、社会時評など幅広く執筆活動を行っている。1996年、『偽史冒険世界』（筑摩書房）で第10回大衆文学研究賞を受賞。2010年、『日本SF精神史』（河出ブックス）で、第31回日本SF大賞、第41回星雲賞を受賞。著書は他多数。

光文社新書
2013年1月20日初版
820円＋税



例会優り

第709回例会
ホテル日航 SF
8/22（木）19:00
出席率 22/37 59.46 %
7月修正出席率 72.58%

点鐘

ロータリーソング 『ROTARY』
四つのテスト

会長 挨拶 先週はお盆で休会でした。私にとってはとてもありがたく、久しぶりにゆっくりさせていただきました。今年度に入ってからは一週間が大変短く感じていたからです。



8月13日の朝刊に、如来寺では1995年から参道の改修で不要となった敷石を使って市民が石仏を造り続けている。毎年約50体が新たに造られ、約950体が奉納されていて、来年で目標の1,000体に達する見通しの記事が写真入りで大きく記載されておりました。

吉田住職は「新幹線金沢開業に間に合いそうだ。新たな観光名所となってほしい」とのことでした。



楊立山さん

ゲストのご紹介

（卓話者） 金沢美術工芸大学 理事長・学長 久世 建二 様
（米山奨学生） 楊 立山 様 近況報告・奨学金支給
（国際青少年交換受入学生） Brianna CARDINA さん

ビジターのご紹介

なし



アメリカからきました。

Brianna CARDINA さん

会長 いただきます

《 食 事 》

幹事報告・委員会報告



上杉輝子幹事：①7月例会の平均出席率は、72.58%でした。

②10/3（木）の金沢北RC創立40周年記念例会の出欠ですが、回覧をまわしますのでご記入下さい。会費15,000円のうち、5,000円をクラブが補助します。

金沂秀会員組織委員長：毎週申しあげていますが、新会員候補者で良い人がおられたらすぐ言って下さい。がんばります。



ニコニコBOX

¥15,000- 本年度 ¥147,000- 残高 ¥4,914,914



野城会長：久世様、本日は宜しくお願いたします。ブリアナ・カルディナさん、一年間日本を楽しんで下さい。**石丸会員**：久世先生、ようこそ。お話し楽しみです。**上杉幹事**：久世学長様、ようこそ。お話し楽しみにしています。まだまだ暑さ続きますが、皆様お体大切に。**江守巧・道子会員**：久世先生、ようこそ。今日は楽しみに来ました。カルディナさん、日本の生活を楽しんで下さい。**北山会員**：久世先生、ようこそここへクッククック。**金会員**：久世先生、本日は宜しくお願いします。いつもお世話になり、心より感謝申し上げます。**炭谷会員**：久世先生、今夜はよろしくお願いたします。夕刊によると一年間限定でロックバンドを再結成した「プリンセス・プリンセス」がツアーの収益金5億円を東日本大震災に寄付するそうです。女性って太っ腹ですね。驚きました。**藤間会員**：久世先生、ようこそ。卓話楽しみにいたしておりました。**宮永会員**：久世先生、いつもお世話になっております。本日は楽しみにしております。**村田会員**：久世先生、ようこそ。いつも絵のお世話（パイロットクラブ）ありがとうございます。お話、楽しみにしています。

講話の時間

「つくるよろこび ー創作の現場からー」

金沢美術工芸大学 理事長・学長 久世 建二 様

プロフィール



【略歴】

- 1968年3月 金沢美術工芸大学美術工芸学部産業美術学科工業デザイン専攻卒業
- 1968年4月 愛知県立瀬戸窯業高等学校デザイン科勤務(1985年3月まで)
- 1984年4月 石川県立九谷焼技術研修所 講師(現在に至る)
- 1985年4月 金沢美術工芸大学美術工芸学部産業美術学科工芸デザイン専攻 講師
- 1987年4月 同 1 美術工芸学部産業美術学科工芸デザイン専攻 助教授
- 1995年4月 同 美術工芸学部産業美術学科工芸デザイン専攻 教授(2007年3月まで)
- 2002年4月 同 評議員(2007年3月まで)
- 2006年4月 同 美術工芸研究所長(2007年3月まで)
- 2007年4月 金沢美術工芸大学学長
- 2010年4月 公立大学法人金沢美術工芸大学理事長兼学長



【主な受賞】

- 1972年 ファエンツァ国際陶芸展ラベンナ観光局長賞
- 1987年 '87 八本一夫賞現代陶芸展大賞
- 2002年 第2回円空展円空賞

【主な展覧会】

- 1971年 日本陶芸展アメリカ・カナダ巡回展
- 1972年 ファエンツァ国際陶芸展
- 1997年 ソウル国際ヴィエンナーレ
- 2003年 現代陶芸の礎 久世建二展(伊丹市立工芸センター)
- 2004年 久世建二展(INAX 世界のタイル博物館)
- 2005年 珪藻土アートプロジェクト Installation 古代からのおくりもの疎通と拡散ー 韓中日国際陶芸交流展(ソウルミラル美術館)
- 2006年 現代陶芸の粹 ～東日本の作家を中心に(茨城県陶芸美術館)

【主な出版】

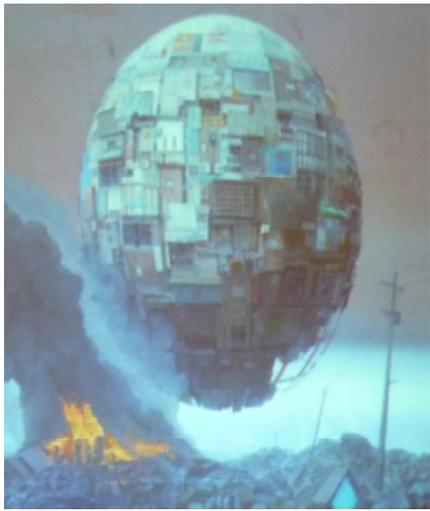
- 1976年 「陶による新しい造形」グラフィック社
- 1982年 「やきもの材料と表現」美術出版社
- 1992年 「陶 Vol.13 久世建二」京都書院
- 1994年 「縄文土器から弥生土器の野焼き技術の変化」日本考古学協会

【主なコレクション】

- ファエンツァ陶芸美術館(イタリア) 石川県立美術館(金沢市)
- アルゼンチン近代美術館(アルゼンチン) 金沢 21世紀美術館(金沢市)
- 京都国立近代美術館(京都市) 国立国際美術館(大阪市)



講話：金沢美術工芸大学の歴史、大学紹介、活躍する卒業生の紹介、多くのジャンルの美術工芸作品をスライドで見せていただきました。



点 鐘

委員会 便り

☆親睦委員会から 今回の親睦会は、2013.8.24(土)能登島の勝雄館で行いました。出席者は、上杉さん、北山さん、木場さん、金さん、水野さん、宮永さん、二木さん、宍戸の8名でした。豪華な舟盛りと、美味しい料理が満載でした。新鮮なお魚の舟盛りに、貝だけの舟盛り、サザエのつぼ焼き、ウニ蒸しその他にも趣向をこらした料理を沢山頂きました。食事の後も、みんなで12時過ぎまで盛り上がり、楽しいひと時を過ごす事ができました。参加してくださった皆さん、ありがとうございました。残念ながら今回参加できなかった皆さんも、次回一緒に楽しみましょう。



記事 宍戸紀文

地区大会のRI会長代理は 尹 弘 周 (ユン ホンジュ) 博士



<一般経歴>

- 1979年 釜山医科大学卒業、医師免許取得
- 1987年 成形外科専門医資格取得
- 1991年 医学博士学位取得
- 1999～2000年 大韓成形外科 釜山蔚山慶南市会 会長
- 2002～2004年 釜山成形外科 協議会 会長
大韓整形外科 協議会 副会長

<ロータリー歴>

- 1991年 Busan Mugunghwa ロータリークラブ入会
- 2004～2005年 Busan Mugunghwa ロータリークラブ会長
- 2006～2007年 地区ガバナー補佐
- 2007～2008年 地区拡大増強委員長、地区研修委員
- 2010～2011年 国際ロータリー第3660地区ガバナー
- 2012～2014年 ゾーン9 ロータリー財団地域コーディネーター

<ロータリー財団寄付> アーチ・フランク・ソサエティ

<韓国ロータリー奨学文化財団> 高額寄付者

(成形外科は日本では形成外科)

米山記念奨学会から要望書に対する返事

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL 03-3434-8681 FAX 03-3578-8281

2013年8月9日

国際ロータリー第2610地区
ガバナー 湯浅外志男様
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
理事 津田達雄様
評議員 中川可能作様
米山記念奨学委員長
若野恒彦様
地区ラオス事業担当パストガバナー
炭谷亮一様

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
理事長 板橋敏雄
事務局長 岩遲俊久

「要望書」 拝受の件

拝啓 残暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、貴地区ラオス事業の一環として、農業指導者育成のため石川県立農業大学での4年間一貫支援に関する要望書を拝受いたしましたので、ご連絡申し上げます。

今回のご要望は本財団の根幹である奨学金制度に関する事項となります。

2015 学年度奨学金制度はこれからの審議となりますので、まずは **11** 月開催の学務・学友 委員会で協議させていただきます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

敬具